

「日本荷電粒子核反応データグループ(JCPRG)」 研究業績リスト、2001

List of Research Achievements of the Japan Charged Particle Reaction Data Group, 2001

「日本荷電粒子核反応データグループ(JCPRG)」編集委員会
the Editorial Committee,
the Japan Charged Particle Reaction Data Group(JCPRG)

abstract

Below listed are the research activities of the Japan Charged Particle Reaction Data Group(JCPRG) carried out in 2001 school year.

1 はじめに

「日本荷電粒子核反応データグループ(JCPRG)」は、1974年に「荷電粒子核反応データファイル(NRDF)」の作成と公開のための活動を開始し、1978年度からは、文部省(文部科学省)より事業費を予算化して頂き、JCPRGとしての恒常的な管理運営を展開してきた。この場を借りて、これまでの荷電粒子核反応データ活動に対する文部科学省からのご支援、ご協力に感謝の意を表するものである。

10月7日ー12日、国際会議”Nuclear Data for Science and Technology”が開催され、我々のグループからも大林が代表して報告を行った。日本の荷電粒子核反応データベースの作成経過とその位置付けを中心に最近の活動内容をまとめたものである。また、IntelligentPadを用いたデータの利用システムの開発研究が進められ、北見工大の青山が中心となって、国際核データ交換データベース”EXFOR”のデータ検索およびグラフデータの可視化のシステムを完成させた。さらに、大塚が中心となって開発を進めてきたWeb上でのNRDFデータ入力システムがほぼ完成し、2002年春の原子力学会でその報告を行った。

次章には、2001年度における上記研究開発の業績を記載する。

2 2001年度JCPRG研究業績

国際会議、学会等での講演と予稿/報告論文

1. Hiroshi MASUI, Yoshihide OHBAYASI, Shigeyoshi AOYAMA
Akira OHNISHI, Kiyoshi KATO and Masaki CHIBA :
”Exploratory Study of Nuclear Reaction Data Utility Framework of
Japan Charged Particle Reaction Data Group(JCPRG)”
International Conference on Nuclear Data for Science and Technology (ND2001)
Oct.7-12,2001
2. 大塚直彦・能登宏・大西明・加藤幾芳
「ウェブブラウザを用いた核反応データ編集システムの開発」
日本原子力学会 2002 年 春の年会, 神戸商船大学, 2002 年 3 月 27-29 日